でんごん板

募集

「女性の想い」川柳カルタ

17年２月に行う「女性の想い」川柳カルタ大会で使用するカルタの絵柄と川柳を募集します。家庭環境、地域環境、職場環境などでの男女それぞれの思いを川柳にしたものと、それに合わせた絵柄を募集します。

締め切り・10月31日（日）

申問 〒017-0871大館市片山３丁目11-35
「女性の想い」川柳カルタ
大会実行委員会☎49－7607
FAX42－6007

催し

「心の健康づくり講演会」

と　き・10月７日（木）
13時30分～15時

ところ・釈迦内公民館

演　題・「思春期・青年期の若者の心をいかに理解するか」

講　師・水野淳一郎氏
長信田の森心療クリニック精神保健部長（山本町）

問 庄司さん☎48－4356

ほっぺにチュッ

花岡佑弥くん
（相染町・１歳７カ月）

好き嫌いなく何でも食べます。ブロックで遊ぶのが大好きでアンパンマンがお気に入り。

三浦桃花ちゃん
（清水町・１歳６カ月）

外で元気に遊んでいます。滑り台がお気に入り。いつでもおじいちゃんにべったりです。

市長リポート No.263

おもてなしの心

この地域の風土で育まれてきたきりたんぽ鍋は、大館を代表する郷土料理です。香ばしくあぶった「たんぽ」に、ネギ、ゴボウ、セリなどの野菜、キノコ、それに鶏肉を入れたきりたんぽ鍋。新米の出回るころとなり、皆さんも仲間で「たんぽ会」を開いて、この季節ならではの味を楽しまれるのではないでしょうか。

お店で食べることもあれば、ご家庭で食べることもあるきりたんぽ鍋ですが、どこのご家庭にも「我が家の味」があります。「やっぱり我が家のきりたんぽ鍋が一番」というかたも多いでしょう。ダシの取り方から、具材の選び方、調味料の分量など、きりたんぽ鍋には、調理するかたそれぞれの「感性」が表れます。同じ材料を使っても、作り手によって味が異なってくるきりたんぽには、無限のバリエーションがあります。

さて、きりたんぽ鍋は、おもてなしの料理やお祝いの料理として食べられることが多いと思います。これからの季節、大館は、色鮮やかな紅葉に彩られ、また白い雪の舞う冬へと姿を変えます。寒い日に、遠方から訪れたお子さんやお孫さん、お客さんに、温かくおいしいきりたんぽを差し出せば、その素朴な味わいが、空腹を満たすだけでなく皆の心まで暖めてくれます。このきりたんぽ鍋こそが、市民の皆さんの「おもてなしの心」の表れだと私は考えます。

今月９、10日には、長木川市民広場で「第32回本場大館きりたんぽまつり」が開催されます。また、代々木公園での「渋谷区くみんの広場」での出店や、渋谷郵便局で開催される「大館フェア」などでの地道なＰＲで「本場大館のきりたんぽ」も全国的に有名になってきました。これからもきりたんぽ鍋の味わいと、その「おもてなしの心」のぬくもりを、もっと多くのかたに伝えていきたいと思います。

小畑　え